



鶴間中学校だより 2月号

令和7年2月25日発行
大和市立鶴間中学校
大和市下鶴間3016
TEL 046-274-8903
FAX 046-276-1067

学校教育目標 『自分を創る』 ひろい心 すこやかな体 ゆたかな学力
ホームページ URL: <http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/c-turu/>

「地域から信頼され応援される学校をめざして」

校長 小澤 裕之
(2月3日朝会より抜粋)

本日2月3日は立春です。昨日は、節分でした。みなさんは、恵方巻を食べましたか。今年は、西南西の方向を向いて食べるとよかったです。立春とは、二十四節気(にじゅうしせっき)において、春の始まりであり、1年の始まりとされる日です。

暦(こよみ)のうえでは、寒い冬が終わって、暖かい春が訪れる日とされています。立春は2月4日であることが多いですが、その年により変わります。2025年は、2月3日が立春です。

立春にまつわる風習として、「立春大吉」というものがあります。立春の早朝には、禅寺で「立春大吉」と書かれた厄除けの札が貼りだされます。新年が始まる立春の朝に「立春大吉」の札を貼ることで1年間の無病息災を願います。「立春大吉」の文字は左右対称で、縦書きにすると表から見ても裏から見ても立春大吉と読むことができます。そのため、家に入ってきた鬼が振り返って札を見た時に「この家にはまだ入っていない」と勘違いして家から出ていくとされ、厄除けになると考えられているそうです。

さて、今日は、1月16日の神奈川新聞の読者投稿欄に川崎市の17歳高校生が投稿していた記事を紹介したいと思います。タイトルは、“「応援されるチーム」達成”です。

投稿記事では、筆者が、部活動のキャプテンとして新チームを率いることになったときに掲げた目標「応援されるチームになること」について書かれていました。筆者は「過去のチームは、学校生活でだらしない面が目立っていた」と感じていて「チーム全体で日々の行いを大切にして、周囲の理解を得るよう努めた」結果、半年ほど経ってチームとしての信頼が生まれ、応援されるチームに成長したと感じ目標を達成できたそうです。「いくら良い成績を残しても、応援される存在でなければ理解も得られない。」この言葉は、部活動に限らず、大切な言葉だと思います。

鶴間中学校も地域とともにある学校をめざしています。

みなさんと共に地域から信頼され応援される学校をつくっていきたいと思います。

【50周年記念誌が完成しました!】

記念事業実行委員会の皆様のご尽力により50周年記念誌が完成しました。創立50周年記念事業の締めくくりとなります。先日、全校生徒へ配付しておりますので、ぜひご家庭でもご覧いただければと思います。



【まなび場Jr./職場訪問の様子から】

キャリア教育の一環として、2学年は1月21日(火)に職業体験(まなび場Jr.)を行い、グループごとに講師からヘアメイクやWEBデザインなどについて学びました。1学年は地域の事業所に職場訪問を行い、インタビューした内容を2月7日(金)に授業参観でグループ毎に発表しました。



【活性化会議主催の清掃活動が行われました】

2月22日(土)午前、地域の皆様と鶴間中生徒有志により、地域清掃活動が行われました。普段お世話になっている地域に少しでもお役に立てたら何よりです。

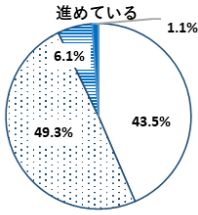


【令和6年度 学校評価アンケートより（抜粋）】

*「鶴間中をより良くするためのアンケート（今年度より「すぐーる」での回答をお願いいたしました）」へ、ご回答ありがとうございました。皆様より頂いたご意見は、今後の学校運営に活用してまいります。

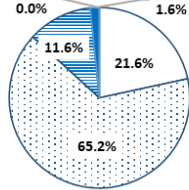
豊かな学びのある学校づくり

2. 先生たちは、分かりやすく授業を進めている



生徒

2. 先生たちは、子どもたちが分かるように学習指導をしている

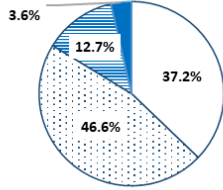


保護者

生徒の肯定的意見（そう思う＋どちらかといえばそう思う＝肯定的意見としております）は約93%で、過去5年間とほぼ同様の高い水準でした。また、保護者の肯定的意見は昨年度と比較してやや上昇（R5：80%→R6：87%）しました。今後も引き続き教材研究を進め分かりやすい授業づくりに努めてまいります。

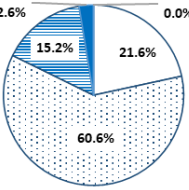
□そう思う ▨どちらかといえばそう思う ▤あまりそう思わない ■そうは思わない ▩無回答

4. 学級の活動では、一人ひとりの意見が尊重されている



生徒

4. 先生たちは、保護者や子どもたちの意見を受けとめて、教育活動を進めている



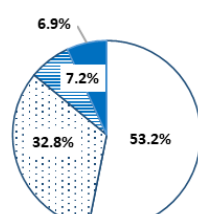
保護者

生徒及び保護者の肯定的意見は、昨年度と比較してやや上昇しました（生徒R5：80%→R6：84%。保護者R5：79%→R6：82%）。コロナ禍以前の数値（生徒R1：73%、保護者R1：77%）と比較しても高い水準を示しております。引き続き、生徒や保護者との信頼関係を構築するよう、生徒との丁寧な関わりをこころがけるとともに、さらなる生徒理解に努めてまいります。

□そう思う ▨どちらかといえばそう思う ▤あまりそう思わない ■そうは思わない ▩無回答

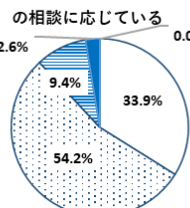
活力ある学校づくり

6. 学校には相談できる先生がいる



生徒

6. 学校は、子どもたちや保護者の相談に応じている

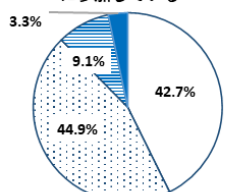


保護者

生徒の肯定的意見は、昨年度と比較し上昇（R5：77%→R6：86%）し、過去5年間で最も高い水準です。また、保護者の肯定的意見は、過去5年間を通し約90%の高い水準を保っています。引き続き、月1回のふりかえりアンケートの活用や普段の学校生活の様子を見守るなど、生徒・保護者ともに学校への相談しやすい体制を構築してまいります。

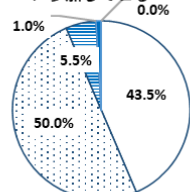
□そう思う ▨どちらかといえばそう思う ▤あまりそう思わない ■そうは思わない ▩無回答

9. 生徒会の活動や学校行事に積極的に参加している



生徒

9. 子どもたちは、行事に積極的に参加している



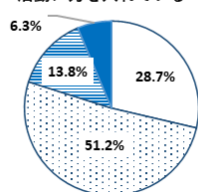
保護者

生徒の肯定的意見は上昇（R5：81%→R6：88%）しており、また保護者の肯定的意見も94%と昨年度とほぼ同等の水準です。また、コロナ禍以前の数値と比較（生徒R1：69%、保護者R1：86%）しても高い数値であることから、コロナ禍を乗り越え学校における生徒会活動や学校行事の大切さを新たに感じられる取り組みが行われたと認識しております。今後も、生徒一人ひとりが仲間との協働による達成感を感じられる活動を支えてまいります。

□そう思う ▨どちらかといえばそう思う ▤あまりそう思わない ■そうは思わない ▩無回答

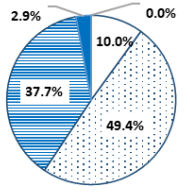
開かれた学校づくり

1. 学校は、地域のボランティア活動に力を入れている



生徒

1. 学校は、ボランティア活動に力を入れている



保護者

コロナ禍において、生徒によるボランティア活動の機会が減少していましたが、昨年度より徐々に地域行事等での外部ボランティア募集も再開しつつあることを受けて、生徒の回答は肯定的意見が回復傾向にあります（R2：68%→R6：80%）。一方で、保護者の受け止め方はそれほど高くはありません（R6：59%）。自発的に昼休みや放課後に美化活動を行ってくれる生徒が複数いることなども含め、生徒の活動の様子を積極的に発信してまいります。

□そう思う ▨どちらかといえばそう思う ▤あまりそう思わない ■そうは思わない ▩無回答